

学習補助について

吹田市立豊津中学校

1 本校における学力の現状

どの授業においても、落ち着いて学習する態度が備わっています。基礎基本について、状況で、発達段階に応じた平均的な学力は概ね身に付いています。教員の指示に素直に従い、決められた課題には一生懸命に向き合うことができます。

反面、自ら課題を設定し、基礎基本を活用して、より主体的に学ぶことには課題もあります。話し合い活動や自分の意見をまとめて発表する、端末を活用する等の活動をさらに質の高いものに充実させることで、「主体的に学ぶ」姿勢をさらに伸ばしていけたらと考えます。

2 本校における特別支援が必要な生徒の現状

本校は、通常学級各学年6クラス、支援学級5クラスの23クラス編成です。支援学級在籍生徒数は30名で、市においてもその人数は年々増加しています。

支援学級に在籍する生徒は、1日のうち、支援学級で授業を受ける場合（抽出授業）と、通常学級で授業を受ける場合、その際、支援者がつく場合（入り込み授業）が混在しているケースが多くなっています。

また、昨今、通常学級における特別支援が必要な生徒の数は、年々増えています。学習障害や、低学力に悩む子供たちも少なくありません。

3 本校における不登校の現状

不登校生徒数は多く、不登校の理由についても、集団が苦手、人間関係をつくるのが難しい、勉強が嫌、朝起きられない等、様々です。登校の形態についても、全欠席、週に数日欠席、遅刻が多い、登校を渋る等、一人ひとり違っています。フリースクールに通う生徒も数名います。オンライン授業を実施している際、そこに参加できる場合もあります。

4 スクールボランティアにお願いしたいこと

【テスト前の補習】

- ・定期テスト前、各学年2日～3日間、放課後学習の時間を1時間15分程度設定する。

- ・複数の教室に分かれて学習する。

【夏の長期休業期間中の補習】

- ・終業式後、各学年2日～3日間、補習期間を半日程度設定する。
- ・宿題等を持ち寄り学習する。

【通常学級の授業補助】

- ・授業内で、学習についていけない生徒の補助を行う。

【支援学級の補助】

- ・支援学級における抽出授業の補助を行う。
- ・通常学級における入り込み授業の補助を行う。

【通常学級における特別支援が必要な生徒の補助】

- ・通常学級において、入り込み授業の補助を行う。

【校内教育支援教室（STEP ルームにおける補助）】

- ・登校しにくい子供たちの支援を行う。
- ・学習補助や、話を聞く等。